

### 健康づくり事業 「秋のウォーキング大会」に参加して

健康づくり推進員 金指 雪代

12月7日(土)、健康づくり事業の一つとして恒例になつている「秋のウォーキング大会」が開催されました。スタートの時点は少し肌寒く感じられましたが、ウォーキングには最適な気温となりました。最年少の小学2年生から最高年齢87歳の方まで、総勢54名の方が参加されました。気心の



さあ ウォーキング出発

の知れた仲間に参加された方や、毎回参加されている方、お一人で参加された方など参加者の顔ぶれは様々でした。無理のないペースで周囲の景色を堪能しながら、折り返し地点の農事センターを目指して歩きました。農事センターでの買物を楽しみながら歩いていく方も多くいます。野菜や土産物、花などいろいろ買われていました。荷物は並走で同行してもらった車に積んでもいい、帰路も余裕で歩くことができました。ゴー

き、子どもたち全員で「いただきます！」の合唱。こんなに大勢で食事をする経験はなかなかありません。友達同士で楽しくしゃべりながらおいしいカレーをいただく時間は子どもたちにとっても貴重なものになったと思います。普段以上に食欲旺盛になった子どもたちはおいしいカレーを何度もおがわりして、まんぷく！大満足の様子でした。私たち職員も地域のみなさまに見守られながら子どもたちは育まれていくのだと改めて感じる楽しい会になりました。



無事!! 到着

り計算された「おにぎり」と豚汁」を頂きました。健康一色の一日となりました。

### みんなで おいしいカレー会

児童館児童厚生員

岡本 みなみ

昨年12月23日(月)若園児童館にて毎年恒例のカレー会を行いました。小学校で二期の終業式を終えてお腹をすかせた子どもたちは遊戯室から漂ってくるおいしそうなおにぎりの匂いに期待は充分、思わず笑みがこぼれていました。児童館に集まるたくさんの子どもたちのために運営委員の方々が朝早くから心を込めて作ってくださいました。一人一人によそついていた

き、子どもたち全員で「いただきます！」の合唱。こんなに大勢で食事をする経験はなかなかありません。友達同士で楽しくしゃべりながらおいしいカレーをいただく時間は子どもたちにとっても貴重なものになったと思います。普段以上に食欲旺盛になった子どもたちはおいしいカレーを何度もおがわりして、まんぷく！大満足の様子でした。私たち職員も地域のみなさまに見守られながら子どもたちは育まれていくのだと改めて感じる楽しい会になりました。

また、今回も館長をはじめ運営委員の皆様方にお世話になりました。ありがとうございます。



カレー沢山 食べてネ!

おいしい!

### 第44回若園校区 三世代スポーツ大会

若園校区老人クラブ連合会

会長 水田 正富

10月25日(金)、地区恒例の第44回若園校区三世代ス

### 新春年長者囲碁将棋大会に参加して

藤村 慎二

第44回新春年長者

囲碁・将棋大会

囲碁の部

優勝 藤村 慎二

準優勝 東 和広

三位 平山 武彦

将棋の部

優勝 軸丸 情則

準優勝 矢成 茂

年末に若園校区社会福祉協議会よりお誘いを受け、初めて参加しました。

令和になつて最初の年の優勝という事で、とても嬉しく感慨深いものがありました。

4局対局しましたが、どの対局もギリギリの勝負



真剣なひととき



来年も頑張ります!!

で勝つたのは、まったくの幸運という他ありません。囲碁を通じ、沢山の方々を知り合い、又、脳の活性化と認知症の予防も兼ね、とても素晴らしい大会でした。

なお、若園校区社会福祉協議会の皆様には、大会の準備やとてもおいしい昼食としておでんやお茶など、温かいおもてなしに感謝申し上げます。

最後に、益々の若園校区の発展と、年長者の囲碁将棋大会が、更に盛り上がっていくよう願っています。

### 生活支援事業を 開始して

地域生活支援相談員  
坂本 美佐子

2025年問題の超高齢社会の到来を受けて、現在全国的に生活支援サービス

ました。木村・坂本が交代で水曜日以外常駐しています。支援サービスは、日常のゴミ出しと生活必需品等の買物支援を行う事業です。大切な事は、生活支援ニーズ者の把握と活動者のマッチングを行う事です。

利用者さんの声です。  
「ただ、ただ有難いです。自分が出来ない事を気持ちよくして戴き感謝です」と、寄り添う絆の深さを感じた事を涙ながらに話された言葉が印象的でした。「向こう三軒両隣」の共助意識の下、校区内の皆様の暖かいご支援を切にお願い申し上げます。



「面談中」

### 編集後記

「人生100年」、泣いても笑っても一度限りの80才です。100才を目指して自分らしく生きて行きたいと思えます。編集員と力を合わせて校区の皆さんに喜んで頂けるニュースをお届け出来るように頑張っていきたいと思えます。  
編集長 築別 悦子